



豊田市の人材育成事業について

2018年12月7日
豊田市 森林課 宮口 顕汰

2

豊田市の森づくり人材像

豊田市は森づくりを担う人材像を次のように設定し、育成を図ります。

<各人材に求められる主な知識・技能>

森林作業員 <small>(主に森林組合職員が対象)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全に関する十分な知識や技能および法令順守意識を有する。 ・100年後の目標林型を目指した将来木施業（針広混交林含む）を理解して、施行を行う。 ・森林保全を考慮した上で、効率的な作業システムの実践や道づくりを通じた木材生産を行う。
森林施業プランナー <small>(主に森林組合職員が対象)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・立地に応じたゾーニングや目標林型を目指した将来木施業（針広混交林含む）を計画し、森林所有者に提案する。 ・森林保全を考慮した上で、効率的な作業システムや道づくりを計画し、現場管理も行う。
市フォレスター <small>(主に市職員が対象)</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・広域的な視点において、総合的な方針を示し、関係機関と調整を図る。 ・森林保全のルールなど規制的な面について、専門性を生かした指導を行う。 ・市民や森林所有者に対して、森づくりの普及啓発を行う。

事業紹介

●人材育成事業

新・森づくり構想の実現に向けて、担い手となる林業技術者の育成



①森林施業プランナー等の育成

アカデミー研修など、主に森林組合職員を対象とした研修の開催

②国内外の林業教育・研究機関との連携による人材育成

ドイツ・スイスとの技術交流や他市町村との交流企画など

③とよた森林学校講座の活用

市民等を対象とした森林講座の開催

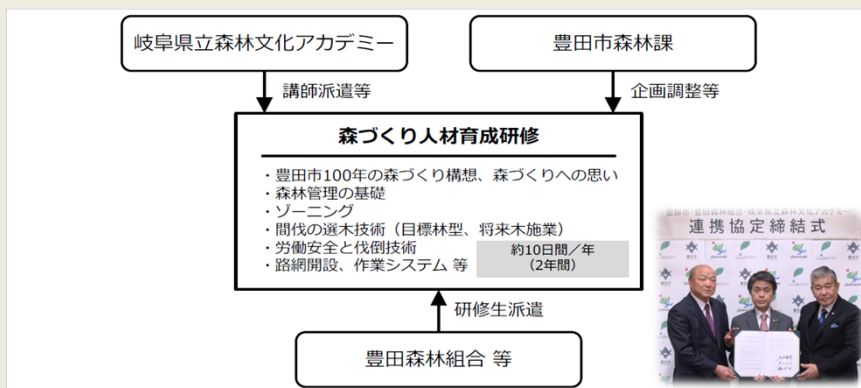
④市における専門職員の育成

専門職員の募集や説明会など

事業紹介

・人材育成研修（森林施業プランナー等の育成）

今年から2年間通しのプログラムで、森林の基礎知識の講義と、豊田市内の山林での実習を通し、森林の活用計画を自ら考えられる人材育成を目指す研修を実施。



岐阜県立森林文化アカデミーの紹介

岐阜県立森林文化アカデミーは、岐阜県立林業短期大学校を前身とし、2001年に開校した専修学校です。「森と木のエンジニア科」と「森と木のクリエイター科」の2講座で計40人の学生が毎年入学し、専門講師のもとで、森林生態から伐採技術、路網整備まで、林業・木材産業現場に即応できる人材を育成しています。

市は森林施業プランナー等を育成するため、岐阜県立森林文化アカデミー・豊田森林組合との3者で連携協定を2018年3月5日に締結しました。この連携協定に基づいて「働きながら学ぶ」研修を2018年度から開始します。
(新・森づくり構想引用)



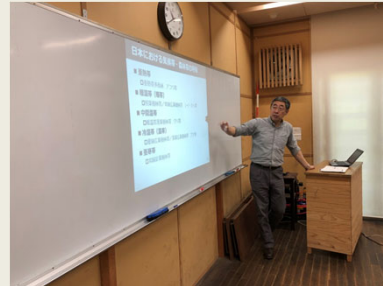
人材育成研修プログラム

No.	第1回		第2回				第3回	
	1	2	3	4	5	6	7	8
開催日	6月13日・14日		7月31日～8月3日				10月11日・12日	
研修名	森林の基礎		森林の基礎	目標林型と将来木施業	作業システムとコスト分析		森林のゾーニング・壊れにくい森林作業道	
研修内容	【講義】 ・森林組合の森づくり ・森林の構造と動態 ・林木の成長と森林の発達 【実習】 ・演習林の森と樹種判別	・前日の続き 【講義】 ・前回の振り返り ・目標林型の考え方 ・残念な施業 【実習】 ・樹木同定テスト	【講義】 ・豊田市の森づくり方針と施業方法 【実習】 ・目標林型に向けた選木（将来木施業）	【講義・演習】 ・生産システムの選択、生産性・コスト分析 ・損益計画の検討 ・ビジネス・ゲーム（事業地の設計、事業収支積算ほか）	【演習】 ・ビジネス・ゲームの続き ・振り返り	【講義】 ・山地災害リスクを考慮した木材生産（森林ゾーニング） ・壊れにくい森林作業道の作設技術 【実習】 ・ゾーニング ・危険地区に見分け方	・前日の続き	
場所	森林アカデミー		森林アカデミー				豊田市	
担当講師	横井秀一		横井秀一		杉本和也ら		横井秀一、白田寿生（岐阜県森林研究所）	

第1回 森林の基礎



第1回目はアカデミーで開校式



横井教授による森林の基礎講義

第1回 森林の基礎



午前の講義を受けた上で午後は現場に出て樹種同定講義

第2回 目標林系と将来木施業

7月31日～8月3日の4日間の研修



樹種同定テストの様子

第2回 目標林系と将来木施業



将来木施業の現場講義

第2回 作業システムとコスト分析

杉本講師と鹿児島大学の講師による作業システムの講義



豊田市の森での搬出を想定した作業システムゲームの様子

第2回 作業システムとコスト分析



作業システムとコスト分析結果の発表

第3回 壊れにくい作業道



初の豊田市開催
初日の午前は作業道に関する講義

初日の午後と2日目は各現場に行き、
作業道の適地など見学



第3回 壊れにくい作業道



この研修は、災害リスク等の内容もあるため、
市職員も参加

人材育成研修プログラム

	第4回	第5回	
No.	9	10	11
開催日	2月27日（水）	3月6日（水）～7日（木）	
研修名	壊れにくい森林作業道	目標林型と将来木施業	森林のゾーニング
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返り ・今後予定の作業道の線形検討実演 ・今後予定の搬出路の設計検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の振り返り ・豊田市モデル林の視察・検討（目標林系の決定と選木） 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれてゾーニング実習 ・団地化の提案前の場所（20ha）
場所	豊田市	豊田市	
担当講師	白田専門研究員	横井秀一	